

# くま小通信

第8号 令和3年6月15日  
 名古屋市立熊の前小学校  
 名古屋市緑区亀が洞一丁目901番地  
 TEL: 052-878-1600  
<http://www.kumanomae-e.nagoya-c.ed.jp>



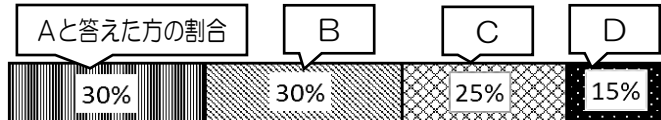
各記事と「学校教育目標」(第1号参照)の関連を、次のように文末に示しています。  
 (1) 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成 → 【①自ら学ぶ力】  
 (2) 思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成 → 【②思いやり・社会性】  
 (3) 生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成 → 【③心身の健康】

## 熊の前スポーツデー アンケート結果

5月29日(土)に行われた「熊の前スポーツデー」のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果についてお知らせします。

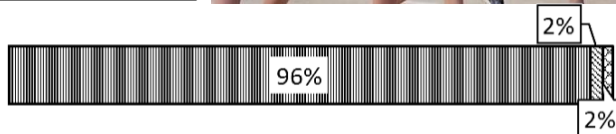


【グラフの見方】



アンケート結果を、%で示しています(小数点以下は四捨五入)。左から、A、B、C、Dの順に並んでいます。

<b>質問1</b>	A: 96%	B: 2%	C: 2%
「熊の前スポーツデー」の開催について	開催してよかった	感染症の状況等を踏まえると、開催すべきではなかった	その他

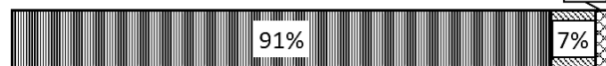


＜いただいた主なご意見＞

- コロナで大変な中、学校・子ども・保護者が協力してスポーツデーが行えたことが、とてもよかったと思う。
- 子どもが頑張っている姿を直接応援できることは、とても幸せだと感じた。
- 子どもたちのスポーツを楽しむ姿、笑顔を見ることができ、とてもよかった。
- 家では気付くことができなかった成長を感じることができ、とてもうれしく、感動した。
- 緊急事態宣言が開けてからの開催でもよかったのではないかと思います。



<b>質問2</b>	A: 91%	B: 7%	C: 2%
土曜日の開催について	よかった	平日がよかった	その他

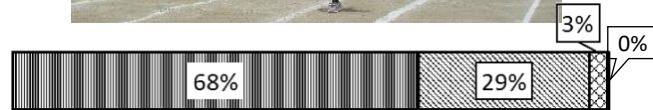


＜いただいた主なご意見＞

- 土曜日開催のため、夫婦で参観がしやすかった。
- 参観の人数を少なくするためには、平日の開催がよかった。



<b>質問3</b>	A: 68%	B: 29%	C: 3%	D: 0%
各学年の種目数と内容は適切であった。	そう思う	どちらかと言えばそう思う	あまり思わない	思わない

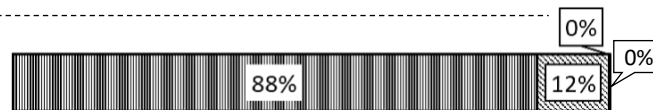


＜いただいた主なご意見＞

- 応援合戦は、みんなで頑張る感じが出たり、子どもたちの気持ちが盛り上がりすぎていて、よかった。
- 運動の技能を競うだけでなく、運や偶然性が勝敗を分けるものが多く、ひねりが効いていて、とてもおもしろく観戦できた。
- クラスで協力し合える内容が多く、クラスの団結力が見られたのでよかった。
- リレーが、選抜ではなく、全員でできたのがよかった。
- 6年生は、もう少したくさん種目が見たかった。
- ダンスやソーラン節、組体操などの表現が見たかった。



<b>質問4</b>	A: 88%	B: 12%	C: 0%	D: 0%
密集を避けるため、保護者の参観を分散したことは適切だった。	そう思う	どちらかと言えばそう思う	あまり思わない	思わない



＜いただいた主なご意見＞

- 保護者の参観が当該学年のみだったので、密になることなく参観できた。
- 1時間あまりと短時間だったので、熱中症で体調を崩す児童がいなかったのだと思う。



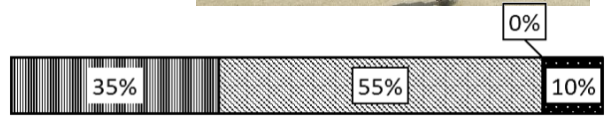
<b>質問5</b>	A:82%	B:15%	C:2%	D:1%
お子さんは「熊の前スポーツデー」を楽しみにしていた。	そう思う	どちらかと言えばそう思う	あまり思わない	思わない



＜いただいた主なご意見＞

- 家で子どもの張り切る姿があり、楽しみにしているのだなあと感じた。
- 応援団になった我が子が、とても張り切っていた。
- 運動が得意な子が活躍する競技内容に感じたのが、少し残念だった。

<b>質問6</b>	A:35%	B:55%	C:0%	D:10%
来年度以降の体育的行事のあり方について	全校での運動会を開催してほしい	スポーツデーのような形でよい	開催しなくてよい	その他



＜いただいた主なご意見＞

- A：全校での運動会で、気持ちを一つにする経験をさせてあげたい。  
※ほとんどが、「感染症が落ち着いていたら」という前提でのご意見でした。
- B：分散での開催だと、感染症対策と同時に、熱中症対策にもなる。保護者の参観もしやすい。種目数や参観人数に制限があっても、十分楽しめたし、子どもたちの笑顔がとても印象に残った。
- D：状況に応じて柔軟に判断していくべき。

【その他、ご意見ご要望等】

- 緊急事態宣言が発出中の中、心配はあったが、子どもたちの頑張る姿を見て、開催してよかったと思った。
- 今年は、他学年の競技を見ることができ、子どもがとても喜んでいて、見応えもあった。
- 観覧していたペアの学年の子が応援してくれていて、とてもよかった。
- ペアのスポーツデーはとてもよかった。スポーツデー後、上学年のかっこいい姿をまねする姿があり、憧れを抱いたようだ。
- 赤白対抗になったことで、子どもたちに競い合う意識が生まれ、楽しさが増していたと感じた。
- マスクを付けての競技には、危険を感じた。
- 熱中症が心配であるため、秋に開催してほしい。
- 注意が呼び掛けられていた保護者同士の会話があつて、残念だった。
- 応援合戦で2学年の保護者が集まると、密になると感じた。
- 4年生以上も、演技の位置や走る順番が分かる案内があると助かる。

**いただいたご意見を、来年度の体育的行事に生かしていきます！**

多くの貴重なご意見を、ありがとうございました。皆様からの声が、熊の前小学校をよりよくしていくための原動力になっています。昨年度いただいたご意見を基に、今年度は「応援団」「赤白対抗」「他学年の参観」という点を主に改善し、その点について、多くの保護者の皆様からご評価いただくことができました。

今回、温かいご意見とともに、手厳しいご意見もいくつかいただきました。どのご意見も、示唆に富んだもので、感謝に堪えません。その全てに応えることはできませんが、子どもたちにとってより価値のある行事にするために、来年度以降に生かしていきたいと考えています。

マスク着用については、熱中症対策とのバランスが難しいところです。今回のスポーツデーでは、特に暑くなってきた午後の競技では積極的にマスクを外すように指導を入れていました。これからの季節、さらに気温が高くなっていきます。詳しくは次号の「くま小通信」でお伝えしますが、運動中は必ずマスクを外すなど、熱中症のリスクを低減できるように、すでに校内ではマスクの扱い方を変更しています。

ご意見の中に、「秋開催」のご要望が多くありました。改めて検討しますが、実際にはなかなか難しいというのが実情です。名古屋の気温を調べると、5月末より涼しくなるのは、10月上旬以降です。ここから練習を始めるとすると、早く見積もっても本番は10月中旬となり、11月の文化的行事の練習時期と隣接してしまうため、年間計画に無理が生じてきてしまいます。

また、「ダンスやソーラン節を見たい」という声も多くありました。我々自身、表現運動の教育的価値や感動は誰よりも知っていますので、「子どもたちに味わわせたい!」「保護者の皆さんに見てもらいたい!」という思いは強くあります。ですが、表現運動の準備には、多大な時間と労力が掛かります。また、練習にも多くの時間を要します。新指導要領で増加した授業時数の確保や本校の先生たちの超過勤務の実態等、総合的に考えたとき、これも決して、簡単に採用できるものではありません。

ご要望への反論のような内容になってしまって恐縮ですが、皆様の思いは真摯に受け止めています。その上で、可能な範囲で、最大限の改善を図っていきたくと考えています。今後とも、本校教育へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

**今はみんなで  
乗り越えましょう**

保護者の皆様からいただいたアンケートを一枚一枚読んでいて、その温かいお言葉の数々に、何度も心を動かされました。

6年生のある保護者の方は、「中津川を経験することができなかった今の6年生が、クラス全員でバトンをつないでリレーをする姿に、『できてよかったね』と、心の底から思い、感動しました。」と書いてくださいました。保護者の皆さんのお子さんへの愛情、真っ直ぐな成長を願う気持ち、温かいまなざしを感じ、感動を覚えました。

感染症が拡大して以来、偶然この時代に居合わせたというだけで、子どもたちは（大人もですが）様々な我慢や制限を強いられています。学校で子どもたちと関わっている、「なぜこの子たちだけが」というやるせぬ気持ちになることも多くあります。でも、当の子どもたちは我々が思うより強くしなやかで、その笑顔にコロナ前との変化はありません。きっといつか、「あの時は大変だったね」と言い合える日が来ます。この時代を生きた子どもたちだからこそ、「通常通り」の「有難さ」をより強く感じられる、豊かな心をもつ人に育っていくんだと信じています。

最後に、別の保護者の方の、力強い言葉をお借りします。  
今は、みんなで乗り越えましょう！